

麒麟

〔キリン〕

古川登志夫



麒麟

〔麒麟〕

古川登志夫

古川登志夫（ふるかわ としお）

生年月日 1946年7月16日。

出身 栃木県。

最終学歴 日本大学芸術学部演劇学科。

略歴 劇団現代、現代制作舎、劇団同人会、劇団権を経て、劇団青杜（せいとう）創立、主宰、現在に至る。青二プロダクション所属。創造論を基盤とする「人間性の復権」を主題にした、オリジナル作品の劇作、演出をてがける。エッセーに「糸電話」（みのり書房）、「金魚の独り言」（F P コーポレーション）がある。

古川登志夫戯曲集

麒麟

一九九五年四月二〇日 第一刷発行

著者 古川登志夫 ©

発行者 利光哲夫

発行所 株式会社テアトロ

東京都千代田区猿樂町二ノ三ノ一 郵便番号 101

電話東京（〇三）三二九四一七七九 振替東京 一一一九九六八

印刷所 新栄堂

製本 協栄製本

●定価は表紙カバーにあります。

目次

麒麟 5

セラピスト 97

東京海亀伝説——純愛篇 203

解説 江原吉博 277

あとがき／上演記録 281

古川登志夫戯曲集

麒麟

麒

麟

登場人物

麒麟

猿

黒豹

縞馬

駱駝

烏

白孔雀

袋（カンガルー）鼠

狒（ヒヒ）狒

狸

駝鳥

樹（ナマケモノ）懶

狐

スカンク（兄）

スカンク（弟）

社長

部長

係長

怪人達

ブローグ

ジャングル

本ベルあって、客電FOするうちに……

SE (猛獣の咆吼) ……間。

M () CI、サスペンス。

SE (猛獣の咆吼)

緩帳UPすると、闇のジャングル。スモーク。怪鳥の声。巨大な羽撃音。

と、突然一条のサーチライトが客席を模索する。

M () CI、アップテンポ。

SE (エマージェンシー) 電子音の様に。

白黒の縞模様だが、デザイン的にはシェークスピア劇の登場人物(例えばハムレット)を連想させるようないでたちの男が、客席奥より中央の通路を経て舞台上へ。忍者の様に身が軽い。舞台は手前から奥に向かって、三本のバトンに吊るされた三葉のカートンによってジャングルの雰囲気醸し出されているが、中央部分は、奥にいくに従ってより小さく、それぞれギザギザのドーム状にくりぬかれている。中央奥は尺高で手前に向かい緩い開帳場であり、他に奇岩、ボサなど適当に。件の男が舞台に駆け上がり近場の岩に身を隠すと、怒号を発しながら交錯し、駆け抜ける十人程の黒い怪人達。爬虫類の頭を持ちながら直立歩行し、プロテクターを身につけ警棒様の武器と光線銃を携行する彼らは、さながらSF映画に登場する不気味な異星人の様に見える。

怪人①

タゾニゲシマウマーツ!

怪人②

チダソツチ、マエロツカーツ!

怪人③ スナニガスナニガーッ！

怪人① ツンダマーッ！

怪人② コトダ！ タラニガシャーッ！

怪人③ ツケロキラーッ！

怪人① ヤツダアシハヤーッ！

怪人② カコメトリーッ！

怪人③ ルンダシメ、コーシテツーツ！

怪人① グチデイリーッ！

怪人② ダッチアーッ！

怪人③ スナコロ、スナコロッ！

怪人① ヤバダラシンダラーッ！

怪人② エヌジーガン！ エヌジーガン！

怪人③ ルンダシメコーシテツーツ！

一類りの騒動あつて一瞬の静寂、男が岩陰から用心深く姿を現した。

SE (怪鳥の鳴き声) CI

縞馬
フン！

と、ほくそ笑んで、素早く中央奥へと突進するが、突如出現した鉄格子に行手を阻まれる。鉄格子の影が冷たく床面に伸びた。

SE (鉄格子閉まる音) CI、エコー掛かり、威圧的に。

逆光の前に立つ三人の怪人。左右の二人は全身黄緑、中央の人物は全身朱色で背にマント。
上手から部長、社長、係長。

社長 セヤガッテ、テコズラ……

部長 タッテニゲヨー、サナイオロ、トンヤガ!

係長 マッテツカ、デスヨカッタ……

社長 ハハハ、ナバカヤツダ!

縞馬 ケッ! このクソツタレ!

社長 イッテルンダ、テンナ?

係長 タレクッソ、イッテマンナ。

社長 ダナトン! イキナマナ、ヤツダ! シーヨ、シラセテオモイ、ヤルイマニ!

部長 イイノニ、ムダテークーヨセバ!

社長 トーリソノ、クダマツタク。カクトニヨカッタ、ジャーソレイコーカ?

二人 デスネソウ。

社長 ツケキヨクレ、ジューブンワ、コレカラ。

二人 マスツケキラ、マスツケキラ。

社長 クダマツタク、ヤツダナバカ!

社長&部長 フッハッハッハッハ、フーハッハッハッハ……

SE (以下エコー掛かりの録音処理の笑いがWる。)

社長、部長、一瞬遅れて係長、上手に去る。

1

雑居房内、隔壁鉄格子前。

鉄格子の奥に夜空を望むが、月光呀え渡つて、夥しい木々の葉影が舞台床面に落ちている。

縞馬 クソクソクソクソー！ 何がフハハハハハだこのクソッタレ！

黒豹 フハハハハハ……

縞馬 誰だ！

黒豹 なかなか威勢がいいな。

縞馬 誰だ、てめえは！

黒豹 残念だったな。尤も、その鉄格子を突破しても、外には出られねえがな。

縞馬 誰だつて訊いてんだ！

黒豹 その外にも又、鉄格子がある。絶対に逃げられねえ！ 何度もチャレンジしたが、

ことごとく失敗した。

縞馬 フン、先客がいたつて訳かい……

黒豹 ようこそ、パラダイスへ！

縞馬 ふざけるな！ ここはどこなんだ！

黒豹 分からねえ……

縞馬 奴らは何者なんだ？

黒豹 分からねえ……

縞馬 一体何が起きたんだ？

黒豹 分からねえ……

縞馬 何にも分からねえんだな。

黒豹 一つだけ分かつてる。奴らは俺達より高度な文明を持ってるって事だ。

縞馬 らしいな。

黒豹 気がついたか？ この国は石で出来てる巨大な石の国だ。地面迄石で固められていて土が見えない。だから緑というものがまるで無いんだ。

縞馬 (上方を見て) 緑？ 有るじゃねえかこんなに。

黒豹 今に分かる。これは飽くまでも俺の憶測だが、奴らは俺達の国を狙ってる……

縞馬 侵略か？

黒豹 ああ。

縞馬 ああつて、俺達の国は、非武装中立の平和な国だ。

黒豹 非合法が侵略の侵略たる所以だ。丸腰だろうがなんだろうがおかまいなし、文字通り、お手上げだよこっちは！

縞馬 狙いは何だ？

黒豹 領土の拡大だろうな当然。とにかくはつきりしたことは分からねえ。誰に聞いても、いきなり、誘拐同然に拉致されて来たって言うんだ。

縞馬 他にもいるのか？

黒豹 ああ大勢居る。憶測が当たってれば、全員捕虜って訳だ。

縞馬 ……ここは収容所か？……これからどうなるんだ俺達？

黒豹 俺達？ 俺達の国だろ？ おめえには愛国心てものがねえのか？ 自分さえよきやいいのか、国が滅ぼされりゃ、俺達皆殺しになるかも知れないんだぞ。

縞馬 俺は別に……

黒豹 奴らはやがて俺達の美しい肥沃な国土も石で固め、緑をなくしてしまうだろう。そして俺達は根絶しにされてしまう。……余りにも強大な敵だ。どう考えても勝ち目はねえ。

縞馬 何にも分からねえ割には、随分色々知ってるじゃねえか。

黒豹 俺は自分の目で確かめた事以外は、分からねえって答える事にしてるんだ。

縞馬 フン、憶測に、聞いた話か？

黒豹 実は、やな噂を聞いた。

縞馬 どうな？

黒豹 奴らは来たるべき食料危機に備えて、捕虜を集めているっていうんだ。

縞馬 食料！ 俺達を食う気か？

黒豹 ああ。ま、おめえの場合、あまりうまそうじゃねえがな。

縞馬 ふざけるな！

黒豹 俺達に未来の食料資源としての適性があるかどうかを調べるために、強引に拉致し、

ここにプールしてデータを収集してゐるって噂だ。

縞馬 モルモットか？

黒豹 そ、適性があれば、後はバイオで増産って訳だ。

縞馬 バイオ？

黒豹 食料を増やす方法だ。奴らは何でも出来る。連日いろんな奴がやって来て、俺達をつぶさに観察している。時々、無理矢理変な薬を飲まされたり、体重を計られたり……生体実験されるかも知れない。

縞馬 今直ぐ脱走しよう！

黒豹 とは言つてもここは難攻不落の収容所、一人じゃ無理だ、力を合わせようぜ、おめえとは馬が合いそうだ。

縞馬 どうやって脱走する気だ！

黒豹 その前に組むのか組まねえのか！……今度のプランは完璧なんだがなあ。

縞馬 オーケー！ あんた、頭良さそうだからな。

黒豹 おめえは頭悪そうだな。

縞馬 悪かったよ。

黒豹 おめえ、奴らに名前なんて付けられた？

縞馬 俺を指さして、オマエシマウマ！ オマエシマウマ！ って言つてた。

黒豹 縞馬か、成る程。じゃ仮に縞ちゃんてのはどうだ？

縞馬 ハハ、こりゃいいや。じゃあんたは、黒ちゃんか？

黒豹 て事にしようか。

縞馬 食料にされるって話、みんな知ってんのか？

黒豹 いや多分知らねえ。呑気な連中だ。初めは気違いの様にわめいてるが、三日もすり

ゃあ、飼いや慣らされる。いや、洗脳されるって言った方がいいかな。待遇は悪くない。

よすぎる位だ。

縞馬 噂ってのは、誰から聞いたんだい？

黒豹 烏！

縞馬 フフ……ハハハ冗談だろ？

黒豹 いや、冗談じゃねえ。飽くことなく続ける環境破壊は作物のとれない大地の拡大を

助長する。あいつらは自らの墓穴を掘ったのカーもなあって……

縞馬 烏が言ったってのか？ ハハハ、烏は嘘つきだって言うぜ。

黒豹 信じる信じないは個人の自由だ……

縞馬 フン！ それよりやつら不思議な言葉を話すなあ。

黒豹 ああ、たまに分かる単語があるんだけど、どうも今いちヒヤリングに弱くてね。

照明変化、人物入替。

2

雑居房内、夜。